

★**雇調金不正受給 調査本腰**

新型コロナウイルス感染拡大に伴い雇用調整助成金(雇調金)で、千葉県内で少なくとも8社9件6900万円の不正受給が千葉労働局の調査で分かった。膨大な申請数に対し支給を急いだため十分な調査ができず不正が見過ごされたため。調査は申請が一段落した昨年10月に職員3人で専門チームを編成し過去の申請を精査。不正受給が判明した場合、2割の損害賠償金を上乗せして返還を請求し、5年間は助成金を支給しない措置をとる。悪質な場合は事業所名を公表し、県警との連携強化、詐欺罪での刑事告訴も検討する。

★**進まぬ男性育休 職場の壁なお**

男性の子育て参加がなかなか進まない。男性が育児や家事にかかる時間は海外と比べ短く、育児休業の取得率は1割に留まる。育休の職場の壁はなお高く、収入減への不安も根強い。男性社員への嫌がらせは「パタニティハラスメント」(パタハラ)と呼ばれ、育休を利用しようとした男性500人の内26.2%が上司からハラスメントを受けた。「前例がない」との理由。10月からの改正は途中で働く事も可能になり、男性育休の取得促進になると期待したい。

【6歳未満の子をもつ妻・夫の家事・育児時間】

	妻(うち育児の時間)	夫(うち育児の時間)
日本	7:34(3:45)	1:23(0:49)
米国	5:40(2:18)	3:10(1:20)
英国	6:09(2:22)	2:46(1:00)
フランス	5:49(1:57)	2:30(0:40)
ドイツ	6:11(2:18)	3:00(0:59)
スウェーデン	5:29(2:10)	3:21(1:07)
ノルウェー	5:26(2:17)	3:12(1:13)

★**NTT 3万人原則在宅勤務**

NTTは国内どこでも自由に居住して勤務できる制度を今月から導入する。多様な働き方を認め、優秀な人材の獲得にもつなげる。「リモートスタンダード組織」と呼び従業員の半分の3万人が対象。出社が必要になったら飛行機も認め交通費に上限は設けない。2021年9月には転勤や単身赴任をなくす方針を打ち出し、働き方や人事制度改革を加速している。

★**外食、人手確保へ待遇改善**

新型コロナウイルス対策の行動制限が緩和され客足が戻る一方、人材が足りずに営業時間が制限される例もあり、外食チェーン各社が人材の確保や定着に向け取組を強化している。

「日高屋」は午後11時までの営業を目標としているが、外国籍のパート・アルバイトが減ったこともあり、「通常営業に人手が確保できず戻せない」とのこと。中途採用者に50万円の手当を10回程度に分けて分割支給。育児などを理由に退職した元従業員も対象となる。

また、現在働いている従業員に対して特別感謝金を支給し、定着する取組もしている。4月以降は年間公休日を4日増やし、店長手当を最大1万円増やして営業時間が減り残業手当が減ることに対応している。

「はま寿司」はアルバイトを対象にした従業員紹介制度の報奨金を従来の2倍に引き上げた。フード系のアルバイト・パートの募集時平均時給は4.5%UPの1,059円で、3か月連続過去最高を更新している。

★**看護師免許はあるけれど**

新型コロナウイルス感染症により、看護師不足が顕著になった。看護師不足は、コロナ対応の補助金を受けても稼働しない「幽霊病床」の一因にもなっている。

日本看護協会の都道府県ナースセンターが運営する潜在看護師のデータベース「とどけるん」に登録していない潜在看護師は、重責と低賃金のため医療現場にもどるつもりがない人が多い。「日勤で残業して、その日の夜勤に入る働き方。土日も盆も正月もなく、心身ともに疲れ果てた」と胸中を明かす。今後医師の残業規制も始まると医師の業務の一部を看護師が肩代わりする「タスクシフト」が検討され、看護師不足は益々厳しくなる。



蓮はす